

「シン・ドンビン最側近」ファンガクギョロッテショッピング社長被疑者で検察の出席
裏金造成・脱税・背任・チケット運転サイクル疑惑など調査

(ソウル=ニュース 1) チョ・ジェヒョン記者 | 2016-08-25 09:21:40 送稿 | 2016-08-25
09:22:09 最終修正

シン・ドンビンロッテグループ会長 (61) の最側近に分類されるファンガクギョロッテグループ政策本部運営室長 (61・ロッテショッピング社長) が 25 日、検察に出席した。

ソウル中央地検ロッテ捜査チームは、黄社長を同日午前 9 時 30 分被疑者身分で召喚した。

黄社長はイインウォンポリシー本部長 (69・副会長)、ソジンセ政策本部対外協力団長 (66・社長) と一緒に政策本部最高位の役員 3 人に挙げられる。このうち、被疑者の身分で検察の調査を受けるのは黄社長が初めてである。

黄社長は、グループの政策方向を決定し、これを各系列会社に伝播する役割を担ってきた。検察は、黄社長を相手にオーナー一家の秘密資金造成とグループレベルの脱税、背任、チケット運転サイクル、系列会社不当支援など、経営不正と関連した各種の疑惑を確認する方針だ。

検察は、グループ「コントロールタワー」の役割である政策本部がグループの経営不正疑惑ほとんどの深さ介入したと疑われている。このような疑惑と関連し、検察は、これまで政策本部の関係者を参考人の身分で調査してきた。小対外協力団長も 15 日参考人の身分で調査を受けた。

何よりも黄社長が辛会長を至近距離から補助しただけロッテのオーナー一家の秘密資金造成などにも関与したとみている。また、黄社長はロッテの大型買収・合併 (M&A) と支配構造改編も主導したことが分かった。

検察は、ロッテピースネットの有償増資過程で出てきた系列会社に関連する各種の疑惑も政策本部が関与したとみている。この過程で作られた部外資金の一部がオーナー一家の秘密資金に流れ入ったと見ている。

検察は、辛格浩総括会長 (94) と事実婚関係第三夫人ソミギョン氏 (56)、娘辛ユミロッテホテルアドバイザー (33)、シンヨウンジャロッテ奨学財団理事長 (74) らに日本のロッテホールディングスの持分 6.2%を譲る過程で 6000 億ウォン台の税金を脱税したという疑惑

も政策本部が介入したと見ている。

検察はまた、ロッテ建設が 2002 年から 10 年間造成した 300 億ウォン台の秘密資金の一部も政策本部に渡されたものとみなし、黄社長を相手に関連する疑惑についてケムルをする予定だ。ロッテ建設は下請け業者に官給工事などを預けた後、金額を一部取り戻す手法で裏金を造成したことが明らかになった。

検察は、黄社長の調査に続いて、このポリシー本部長と小対外協力団長もすぐに被疑者の身分で呼んで調査する方針だ。これら 3 人の調査を終え次第、辛総括会長、辛会長などのオーナー一家も召喚して調査する計画である。